安全データシート

作成　2019 年 07 月 24 日

1. 製品及び会社情報

製品名　：Premium Whole Genome Bisulfite Sequencing (WGBS) kit
製品コード　：C02030034
Kit の構成
①Water (white)
②WGBS End Repair Buffer Mix (clear)
③WGBS End Repair Enzyme Mix (clear)
④WGBS Adenylation Mix (red)
⑤WGBS Ligation Mix (purple)
⑥WGBS Adapter 25μM (purple)
⑦WGBS Adapter Dilution Buffer (purple)
⑧Resuspension Buffer (white)
⑨BS Conversion Reagent
⑩BS Dilution Buffer (black)
⑪BS Solubilization Buffer (black)
⑫BS Reaction Buffer (black)
⑬BS Desulphonation Buffer
⑭BS Elution Buffer (white)
⑮BS Spin Columns
⑯BS Collection Tubes
⑰WGBS Primer Mix (green)
⑱Methyl Taq Plus 2×Master Mix (green)

会社名　：株式会社ダイアジェノード
住所　：富山県富山市荒川 1 丁目 1 番 25 号
電話番号　：076-482-3110
FAX 番号　：076-482-3211

2. 危険有害性の要約

二亜硫酸二ナトリウムとして記載

GHS 分類	急性毒性（経口）	：区分 4
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分 1
	呼吸器感作性	：区分 1
	皮膚感作性	：区分 1
	特定標的臓器毒性・単回ばく露	：区分 3 (気道刺激性)
	水生環境急性有害性	：区分 3
	水生環境慢性有害性	：区分 3

GHS ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報　：H302　飲み込むと有害(経口)
H317　アレルギー皮膚反応を起こすおそれ
H318　重篤な眼の損傷
H334　吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H335　呼吸器への刺激のおそれ
H402　水生生物に有害
H412　長期的影響により水生生物に有害

注意書き　【安全対策】
P260　粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271　屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P272　汚染された作業着は作業場から出さないこと。
P273　環境への放出は避けること。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P284　呼吸用保護具を使用すること。

【応急措置】
P310　眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。
P312　気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P330　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
P301+P312　飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P333+P313　皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
P342+P311　呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
P362+P364　汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】
P405　施錠して保管すること。
P403+P233　換気の良い所で保管すること。容器を密封しておくこと。

【廃棄】
P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

水酸化ナトリウムについて記載

GHS 分類：皮膚腐食性・刺激性　：区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 1
特定標的臓器毒性・単回ばく露　：区分 2　(呼吸器)

GHS ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報：H314　重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318　重篤な眼の損傷
H370　呼吸器の障害のおそれ

注意書き　【安全対策】
P260　粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】
P310　皮膚(又は髪)に付着した場合、眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。
P363　汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308+P311　ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P301+P330+P331　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303+P361+P353　皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】
P405　施錠して保管すること。

【廃棄】
P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

イソプロパノールについて記載

GHS 分類：引火性液体　：区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 2
生殖毒性　：区分 2
特定標的臓器毒性・単回ばく露　：区分 1 (中枢神経系、全身毒性)
：区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性・反復ばく露　：区分 1 (血液系)
区分 2 (呼吸器、肝臓、脾臓)

GHS ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報　：H225　引火性の高い液体及び蒸気
H319　強い眼刺激
H335　呼吸器への刺激のおそれ
H361　生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H370　中枢神経系、全身毒性の障害
H372　長期又は反復ばく露による血液系の障害
H373　長期又は反復ばく露による呼吸器、肝臓、脾臓の障害のおそれ

注意書き【安全対策】
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210　熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P233　容器を密閉しておくこと。
P240　静電気的に敏感な物質を積み直す場合、容器を接地すること、アースを取ること。
P241　防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
P242　火花を発生させない工具を使用すること。
P243　静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260　粉塵、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271　室外または換気の良い所でのみ使用すること。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】
P312　気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P304+P340　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308+P311　ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P362+P364　汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
P370+P378　火災の場合には適切な消火方法をとること。
P303+P361+P353　皮膚または髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】
P405　施錠して保管すること。
P403+P233　換気の良い所で保管すること。容器を密封しておくこと。
P403+P235　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】
P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

グアニジン塩酸塩について記載

GHS 分類　：急性毒性（経口）　：区分 4
皮膚腐食性・刺激性　：区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：区分 2A

GHS ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報　：H302　飲み込むと有害（経口）
H315　皮膚刺激
H319　強い眼刺激

注意書き　【安全対策】
P264　取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】　P330　飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
P301+P312　飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P332+P313　皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P362+P364　汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【廃棄】　P501　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物　：この製品は、緩衝液、合成 DNA 溶液から成ります。

化学名又は一般名	化学式	濃度	CAS 番号	危険有害成分
二亜硫酸二ナトリウム	Na2S2O5	≦100%(w/v)	7681-57-4	二亜硫酸二ナトリウム
水酸化ナトリウム	NaOH	≦5%(w/v)	1310-73-2	水酸化ナトリウム
イソプロパノール	(CH3)2CHOH	≦50%(v/v)	67-63-0	プロピルアルコール
グアニジン塩酸塩	NH:C(NH2)2・HCl	≦60%(w/v)	50-01-1	グアニジン塩酸塩

4. 応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合　：汚染された衣類を脱ぐこと。速やかに、多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合　：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。吐かせないこと。医師の手当、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
水酸化ナトリウム
吸入　：腐食性、灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現われることがある。
皮膚　：腐食性、発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱
眼　：腐食性、発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷
経口摂取　：腐食性、灼熱感、腹痛、ショック/虚脱
最も重要な徴候症状　：肺水腫の症状は 2～3 時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。
イソプロパノール
吸入　：咳、めまい、嗜眠、頭痛、咽頭痛、息苦しさ、吐き気、嘔吐、意識喪失
皮膚　：発赤、皮膚の乾燥、ヒビ、皮膚炎
眼　：発赤、痛み、灼熱感
経口摂取　：咳、めまい、嗜眠、頭痛、咽頭痛、息苦しさ、吐き気、嘔吐、意識喪失、腹痛、下痢

5. 火災時の措置

消火剤　：粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤　：特になし
火災時の特有危険有害性　：火災時に刺激性もしくは有害なガスが発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法　：火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護　：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
: 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 : 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
適切な保護具を着用する。

接触回避 : データなし

保管

適切な保管条件 : マニュアルを参考にして保管する。

技術的対策 : 特になし

混触禁止物質 : データなし

安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH(TLV) : データなし

日本産業衛生学会 : 設定されていない

設備対策 : ばく露を防止する為に、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色) : 無色澄明な液体

臭い : データなし

pH : データなし

融点・凝固点 : データなし

沸点 初留点 及び沸騰範囲 : データなし

引火点 : データなし

燃焼又は爆発範囲(上限･下限) : データなし

蒸気圧 : データなし

比重(相対密度) : データなし

溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：データなし
化学的安定性	：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	：データなし
避けるべき条件	：日光、熱
混触危険物質	：強酸化剤を避ける。
危険有害な分解生成物	：一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

二亜硫酸二ナトリウムとして記載

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}＝1540mg/kg	区分 4
	：経皮　ラット　LD_{50}＞2000mg/kg	区分外
	：吸入　データなし	
皮膚腐食性・刺激性	：データなし	
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギ　「刺激性、眼に重篤な損傷の危険性」	区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：呼吸器感作性：本物質はヒトにおいて感作性を示す知見がある。	区分 1
	：皮膚感作性　：本物質はヒトにおいて感作性を示す知見がある。	区分 1
生殖細胞変異原性	：データなし	
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：ヒトにおいて喉の炎症を引き起こすとの記載	区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし	
吸引性呼吸器有害性	：データなし	

水酸化ナトリウムについて記載

急性毒性	：経口　データなし	
	：経皮　データなし	
	：吸入　データなし	
皮膚腐食性･刺激性	：5%溶液でウサギの皮膚に重篤な壊死を引き起こした。	区分 1
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：1.2%溶液でウサギの眼に対し腐食性を示す。	区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：呼吸器感作性：データなし	
	：皮膚感作性　：皮膚感作性試験：陰性	区分外
生殖細胞変異原性	：in vivo 変異原性試験：陰性	区分外
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：急性吸入試験により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難が引き起こされる。さらに強いと肺水腫、ショックに陥る可能性がある。	区分 1 (呼吸器)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし	
吸引性呼吸器有害性	：データなし	

イソプロパノールについて記載

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}＞5000mg/kg	区分外
	：経皮　ウサギ　LD_{50}＞5000mg/kg	区分外
	：吸入　ラット　LC_{50}＞20mg/L	区分外
皮膚腐食性・刺激性	：ウサギ　軽度の刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギ　重度の刺激性	区分 2
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし	
生殖細胞変異原性	：データなし	
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：ラット 麻酔作用等の毒性を示した用量では、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められた。	区分 2
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：ヒトで急性中毒として中枢神経抑制(嗜眠、昏睡、呼吸抑制など)、消化管への刺激性(吐き気、嘔吐)、血圧、体温低下、不整脈など循環器系への影響を含み、全身的に有害影響を生じる。	区分 1 (中枢神経系、全身毒性)
	ヒトでの鼻、喉への刺激性が認められており、気道刺激性がある。	区分 3 (呼吸器への刺激のおそれ)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：ラットでの反復吸入ばく露試験で、血管、呼吸器、肝臓、脾臓に影響が認められた。	区分 1 (血管)　区分 2 (呼吸器、肝臓、脾臓)

吸引性呼吸器有害性　：データなし

グアニジン塩酸塩について記載

急性毒性	：経口　ラット　LD_{50}=774mg/kg　含有量≦50%　LD_{50}≧1548mg/kg	区分 4
	：経皮　ウサギ　LD_{50}＞2000mg/kg	区分外
	：吸入　ラット　LC_{50}=5.319mg/L	区分外
皮膚腐食性・刺激性	：ウサギ　強い刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：ウサギ　強い刺激性	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：データなし	
生殖細胞変異原性	：データなし	
発がん性	：データなし	
生殖毒性	：データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	：データなし	
特定標的臓器毒性・反復ばく露	：データなし	
吸引性呼吸器有害性	：データなし	

12. 環境影響情報

二亜硫酸二ナトリウムとして記載

生態毒性　：藻類(Scenedesmus subspicatus)　EC50=48.1mg/L/72H
水生環境急性有害性　区分 3

残留性・分解性　：データなし

生体蓄積性　：甲殻類（オオミジンコ）NOEC ＞10mg/L
本物質は、水中での挙動が不明である。急性毒性が区分 3 であることから、水生環境慢性有害性は区分 3 とした。

土壌中の移動性　：データなし

オゾン層への有害性　：データなし

その他の有害影響　：データなし

水酸化ナトリウムについて記載

生態毒性　：甲殻類（ネコゼミジンコ）　LC_{50}=40mg/L/48H　含有量≦5%
水生環境慢性有害性：区分外

残留性・分解性　：データなし

生態蓄積性　：データなし
急性毒性が区分外であるため、水生環境慢性有害性は区分外とした。

土壌中の移動性　：データなし

オゾン層への有害性　：データなし

その他の有害影響　：データなし

イソプロパノールについて記載

生態毒性　：魚類（メダカ）　LC_{50}＞100mg/L　水生環境急性有害性　区分外

残留性・分解性　：急速分解性あり（BOD by 86%）

生体蓄積性　：甲殻類（オオミジンコ））NOEC ＞100mg/L
急速分解性があり、急性毒性も区分外であるため、水生環境慢性有害性は区分外とした。

土壌中の移動性　：データなし

オゾン層への有害性　：データなし

その他の有害影響　：データなし

グアニジン塩酸塩について記載

生態毒性　：データなし

残留性・分解性　：データなし

生体蓄積性　：データなし

土壌中の移動性　：データなし

オゾン層への有害性　：データなし

その他の有害影響　：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に処分する事。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1824
品名	: Sodium hydroxide solution
クラス	: 8
容器等級	: Ⅱ
海洋汚染物質	: 非該当
国連番号	: 1993
品名	: Flammable liquid, n.o.s. (Isopropanol mixture)
クラス	: 3
容器等級	: Ⅱ
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID の規定に従う。
海上規制情報	: IMO の規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 輸送の際には、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。 移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

二亜硫酸二ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物（法第 57 条）No.412 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2）No.412
化学物質管理促進法（化管法）	: 非該当

水酸化ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当（水酸化ナトリウム 5%以下を含有するものを除く。）
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物（法第 57 条）No.319 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2）No.319
化学物質管理促進法（化管法）	: 非該当

イソプロパノールについて記載

消防法	: 非該当（アルコールの含有率が 60 容量%未満の水溶液を除く）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物（法第 57 条）No.494 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、）No.494 危険物　引火性の物 第 2 種有機溶剤等
化学物質管理促進法（化管法）	: 非該当

グアニジン塩酸塩について記載

消防法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：危険有害化学物質等（規則第 24 条 14） 特定危険有害化学物質等（規則第 24 条 15）
化学物質管理促進法（化管法）	：非該当

16. その他の情報

引用　NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS 等

＊本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
＊新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
＊記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
＊特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。